

## 消費者に危険が及ぶ製品の通報について (緊急警戒システム 2007 年度年次報告)

欧州委員会では食糧品を除く全ての危険性のある消費者向け製品に関し、緊急警戒システム「The Rapid Alert System(RAPEX)」により通報を行っている。このシステムには欧州連合(EU)加盟 27 カ国に加え、欧州経済領域(EEA)参加 3 カ国(アイスランド、リヒテンシュタイン及びノルウェー)の合計 30 カ国が参加している。

RAPEX による通報は年々増加しており、同委員会は 2008 年 4 月 17 日付プレスリリース(IP/08/597)にて、欧州域内にて 2007 年に消費者に危険が及ぶ製品として通報された消費者向け製品は 1,605 件に達し、前年比 53%も増加としたことを明らかにした。なお、これらのうち 1,355 件で消費者に深刻な危害が加わる恐れがあったとしている。

**表 1： RAPEX の通報件数の推移**

年度	2003	2004	2005	2006	2007
通報件数	67	468	701	1,051	1,605

製造国別で見ると、全体の半分近い 700 件が中国(香港を含む)の製品であった。一方、欧州の製品は 303 件であり、その上位 5 カ国はドイツ 79 件、イタリア 48 件、ポーランド 30 件及びフランス 26 件であった。因みに米国は 31 件、日本は 33 件となっている。原産国不明の製品は 2005 年には全体の 20%にも達したが、2006 年は 17%、2007 年 13%と年々減少している。

このような中国製品の状況を踏まえ、中国政府も危険な製品の取り締まりを強化している。中国当局は 2007 年 7~9 月間 RAPEX にて通報された 184 件について調査を行い、それらの 43% に対して改善措置を図り、更に 89 件について調査中である。その結果 701 社の企業が輸出許可を取り消された。欧州委員会は中国と協力体制について今後も協議を進める予定である。

**表 2： 2007 年度 分野別通報件数(上位 5 項目)**

製品名	件数	危険内容	件数
玩具	417	負傷	376
車両	197	窒息	251
電気製品	156	感電	246
照明器具	84	火災	216
化粧品	81	化学物質	212

製品別上位 5 品を見ると、昨年に引き続き玩具が 417 件と最多であり、通報件数全体の 4 分の 1 を占める。通報件数も 2006 年の 221 件から倍近い増加である。欧州に輸入された玩具の約 80%は中国製とみられ、昨今の欧米における中国製玩具リコール問題などもあり、各国で安全に対する監視が強化されたことがその一因である。次いで車両 197 件、電気製品 156 件、照明器具 84 件及び化粧品 81 件の順となっている。また、危険内容の上位 5 項目は昨年と同様の順位であり、これらで全体の約 8 割を占めている。

表 3 : 2007 年度 自転車関連製品に関する通報内容一覧

公表日(年・月・日)	通報国	製品	製造国	危険内容	写真 No.
第 3 週 2007/1/26	リトアニア	MTB 類型車	マレーシア	負傷	1
第 16 週 2007/4/27	ベルギー	幼児車	イタリア	負傷	2
	ベルギー	幼児車	不明	負傷	3
	ベルギー	幼児車	ベルギー	負傷	4
	ベルギー	幼児車	イギリス	負傷	5
第 18 週 2007/5/11	ギリシャ	ブレーキ	台湾	負傷	6
第 21 週 2007/6/1	オランダ	シートポスト	イタリア	負傷	7
第 22 週 2007/6/8	イタリア	パンク修理キット	中国	化学物質	8
	イタリア	パンク修理キット	中国	化学物質	9
第 23 週 2007/6/15	ポーランド	幼児用座席	イタリア	負傷	10
	ベルギー	幼児車	フランス	負傷	11
	ポーランド	幼児用座席	イタリア	負傷	12
第 25 週 2007/6/29	ギリシャ	フロントサスペンション	台湾	負傷	13
第 26 週 2007/7/6	ベルギー	幼児車	イタリア	負傷	14
	ギリシャ	ギヤクランク	台湾	負傷	15
	ポルトガル	幼児用座席	ポルトガル	負傷	16
第 27 週 2007/7/13	ポーランド	BMX	台湾	負傷	17
第 31 週 2007/8/10	オランダ	MTB	オランダ	負傷	18
第 32 週 2007/8/17	ギリシャ	携帯空気入れ	米国/台湾	負傷、聴力障害	19
第 34 週 2007/8/31	スロバキア	幼児車	不明	負傷	20
	スロバキア	幼児車	不明	負傷	21
	スロバキア	幼児車	不明	負傷	22
	スロバキア	幼児車	不明	負傷	23
	スロバキア	MTB 類型車	不明	負傷	24
	スロバキア	幼児車	フィリピン	負傷	25
第 38 週 2007/9/28	ドイツ	幼児車	中国	負傷	26
第 39 週 2007/10/5	スロバキア	幼児車	不明	負傷	27
第 41 週 2007/10/19	ドイツ	パンク修理キット	中国	化学物質	28
第 46 週 2007/10/27	ノルウェー	子供用自転車ヘルメット	ノルウェー	負傷	29
第 49 週 2007/11/23	イギリス	BMX	インド	負傷	30
第 50 週 2007/12/14	オランダ	サイクリング用手袋	パキスタン	発がん物質	31
	スロバキア	パンク修理キット	香港	化学物質	32
第 51 週 2008/1/4	ルーマニア	MTB 類型車	中国	負傷	33

自転車関連製品の通報件数は2006年9件から2007年は33件に増加した。特に完成車は2006年にはわずか2件にすぎなかったが、2007年は幼児車13件、MTB類型車3件、BMX2件及びMTB1件の合計19件となった。特に幼児車の増加は幼児車の欧州規格(EN14765)の基準を満たさない製品として今回、ベルギー、スロバキア両国より多数報告された結果である。また、部品・付属品類の通報件数も2006年7件から2007年は14件と倍増している。

なお、2007年の最多通報国は昨年同様、ドイツの163件であった。次いでギリシャ115件、スロバキア114件、ハンガリー109件及びスペイン108件となっている。これら上位5カ国で全通報数の約4割を占めているが、昨年は全体の61%であったことを踏まえれば、従来通報の少なかった国々でも通報が増えてきており、積極的に通報する国とそうでない国の差は縮まり、RAPEXがより広域で活用されるようになってきていると欧州委員会は評価している。

出所： 欧州委員会プレスリリース「IP/08/597」及び「MEMO/08/252」

以 上

(デュッセルドルフ事務所)

2007 年 RAPEX 通報における自転車関連製品一覧



1. MTB 類型車



2. 幼児車



3. 幼児車



4. 幼児車



5. 幼児車



6. ブレーキ



7. シートポスト



8. パンク修理キット



9. パンク修理キット



10. 幼児用座席



11. 幼児車



12. 幼児用座席



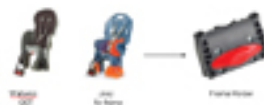
13. フロントサスペンション



14. 幼児車



15. ギヤクランク



16. 幼児用座席



17. BMX



18. MTB※

※報告製品名はマウンテンバイク (MTB) となっているが、  
掲載写真はフロントサスペンションのみ



19. 携帯空気入れ



20. 幼児車



21. 幼児車



22. 幼児車



23. 幼児車



24. MTB 類型車



25. 幼児車



26. 幼児車



27. 幼児車



28. パンク修理キット



29. 子供用自転車ヘルメット



30. BMX



31. サイクリング用手袋



32. パンク修理キット



33. MTB 類型車

写真出所：RAPEX 週間通報より